

平成26年度 第8号

緑丘トピックス

北海道伊達緑丘高等学校

平成26年10月31日(金)

☆☆☆☆☆ 百聞は一見に如かず ☆☆☆☆☆

校長 吉田孝一

標題のことばは、2学年見学旅行（10月6日～10月10日）出発に当たって、結団式における団長（私）が生徒に話した主題です。具体には、次のように話しました。

君たちも承知のとおり『人から何度も聞くより、一度実際に自分の目で見ることが確かであり、よくわかる。』という、およその意味（教え）である。

さて、高校3年間の中で、最高にして最大の行事とも言われる見学旅行は、まさしく字のごとく「見て学ぶ」であり、「見聞を広める」であり、「百聞は一見に如かず」そのものである。その中身は、① 新千歳・関西・羽田空港の様子、② 関西では、「京都の世界遺産」・「世界で最も魅力的な観光都市としての京都の町並み」・「奈良の世界遺産」、③ 新幹線（と車窓から見える富士山）、④ 関東では、東京・ディズニーリゾート・スカイツリー・お台場海浜公園、⑤ 人の姿・身なり・言動・仕事・食べ物・乗り物・建物・環境・（文化・風土）、などである。

このように皆さんは、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳を学び、クラス・学年の人間交流を豊かにして、「ワクワク・ドキドキ、感動・発見の多い」思い出の見学旅行になるよう努めてください。そのためにも、引率団の先生方そして添乗員の話をしっかり聞き、しっかりその内容を守ることです。

もう一つ大切なことは、伊達緑丘高校の生徒として、誇り・プライド・矜持をもって行動することです。

この度の見学旅行、2年生生徒諸君は、決まりを守り適切な行動をし、そこここで見て、聞いて、感じて、食して、そして発見、感動、憧れ、予想と違ったこと等々を、心と身体で表現して、まさしく「百聞は一見に如かず」を見せてくれました。ここでは紙面の都合でその内容は割愛しますが、それぞれの「心の琴線に触れる話」を聞きたいものです。最後に、大きな事故等もなく無事終了できたこと、生徒諸君そして引率教諭の皆さんに『天晴れ！そして感謝！』であります。

各種行事が行われました

●見学旅行（10月6日～10日）



第2学年が、関西・関東方面へ4泊5日で行って来ました。京都や奈良の歴史的建造物や町並み、東京の雰囲気等に触れて、生徒達にとっては大変有意義な研修を行う事が出来ました。

●芸術鑑賞（9月25日）



今年度の芸術鑑賞は「学校寄席」として落語の鑑賞をしました。生徒達は、普段あまり触れることが少ない落語を楽しむ、あらためて日本の伝統芸能の素晴らしさを実感しました。

●喜楽園訪問（10月1日）



本校生徒50名が高齢者福祉施設に訪問してきました。合唱部や吹奏楽局の演奏に加え、家庭部は目の前で花を頂きました。最後には参加者全員で校歌を合唱。みなさんに喜んでいただけたようでした。

●避難訓練（9月29日）



地震を想定した避難訓練を実施し、生徒達は身近に起こりうる災害対策に真剣に取り組みました。地震体験車による訓練も行い、地震の恐ろしさを体験すると共に、防災の意識を高めることが出来ました。

●縄文学習（10月8日）



第1学年が総合的な学習の時間を利用して、北黄金貝塚公園に行ってきました。拓本づくりや植樹用の木の実採集など様々な体験を通して、縄文時代の生活を肌で感じる事が出来ました。

●遠足（10月8日）



第3学年がルスツリゾートへ遠足に行って来ました。3年生にとっては、進路活動が本格的になる前に、学校行事として最後の思い出を作ることが出来ました。

●学校見学会（10月22日）



中学生193名を迎えて本校の学校見学会が行われました。吹奏楽部の歓迎演奏を始め、学習や進路についての説明や、部活動の体験など本校の魅力を中学生にアピールする事が出来ました。

●卒業生進路講話（10月24日）



第1学年に対して、本校卒業生7名が来校し、進路についての講話をしていただきました。現在の仕事や高校時代にすべき事等の話しに、生徒達は職業について考える事が出来ました。

